


















とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																						
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																													
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	『人材育成の精神』が社訓の七精神の一つである日榮は、何よりも従業員を大切にします。チャンスは平等にあり学歴などによる差別はいたしません、丁寧に社員教育を行い、安全配慮に努めています。また、幹部社員に女性を多く起用し、女性の能力が十分に発揮されるための機会や環境を確保し、整備しています。								5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8									16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメント相談窓口が設置されている								5.1 5.2 5.5				8.5 8.8									16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	毎月、時間外労働45時間を超えないよう各部署厳しい管理をしております													8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	常時15人以上の外国人労働者を雇用して日々一緒に協力し仕事をしております。年2回社長と直接面談が有り勤務状況等で困ったこと人権侵害などが有れば直接話をできる場を設けています。							4.4					8.7 8.8		10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	社訓の中にも安全は「すべてに優先する」、「常に」安全に仕事ができる環境を整え、備える」と掲げ、半期ごとにリスクアセスメント、安全運転講習会の実施、								3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	年に1回メンタルヘルスチェックを全従業員へ実施する環境を整えている最中です、近いうちに環境を整備し実施を予定しております									3														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	常時15人以上の外国人労働者、10名以上の65歳を超える高齢者を雇用して、日々一緒に協力し仕事をしております。幹部社員に女性を多く起用し、女性の能力が十分に発揮されるための機会や環境を確保し、整備しています。								5.1 5.5				8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	毎年1回必ず全従業員の健康診断実施に取り組んでいます													8										
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	従業員全員へ平等に講習会、勉強会に行く機会を与え、ここ数年毎年10名以上の従業員が講習会に出席している、その他資格取得等の試験受講料のサポートも行っていきます、決められた講習会に出席した従業員に手当を付ける制度も設けています。													8	9									
	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用														8.5		10.2 10.3								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	日榮は建築現場で発生したガレキなどの産業廃棄物を弊社の中間処理施設で手選別・機械選別によるリサイクル処理をしています。産業廃棄物は選別処理をすることで、再商品化、再資源化、燃料チップなどの再生可能エネルギーへと生まれ変わります。																11.6	12.3 12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	工場の屋根に設置したソーラーパネル使って太陽のエネルギーを電気に変える太陽光発電を取り入れています。再生可能エネルギーに代替することで二酸化炭素の発生を抑えることが環境価値となります。環境価値化で得た収益は、子育て支援や植林事業などへ寄付することで地域と子どもたちのために役立てます。また、J-クレジットで環境価値を生むCoCoLoプロジェクトに賛同しています。													7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	工場の屋根に設置したソーラーパネル使って太陽のエネルギーを電気に変える太陽光発電を取り入れています。再生可能エネルギーに代替することで二酸化炭素の発生を抑えることが環境価値となります。環境価値化で得た収益は、子育て支援や植林事業などへ寄付することで地域と子どもたちのために役立てます。また、J-クレジットで環境価値を生むCoCoLoプロジェクトに賛同しています。												7.2 7.3				12.4		13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	管理職に就いている従業員に法令等で規制されている有害化学物質等の知識の構築のため参考書配布、オンライン学習の実施を行っております									3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	工場の屋根に設置したソーラーパネル使って太陽のエネルギーを電気に変える太陽光発電を取り入れています。再生可能エネルギーに代替することで二酸化炭素の発生を抑えることが環境価値となります。環境価値化で得た収益は、子育て支援や植林事業などへ寄付することで地域と子どもたちのために役立てます。また、J-クレジットで環境価値を生むCoCoLoプロジェクトに賛同しています。													6.6							15			

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																							
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
16 17 18 19 20 21 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用						6.4 6.6																			
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用				3.9		6	7					12	13.3	14	15										
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している				○	応用	自社のホームページに環境への取り組み方、リサイクル施設の開示を行っております																							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○				応用	工場の屋根に設置したソーラーパネル使って太陽のエネルギーを電気に変える太陽光発電を取り入れています。再生可能エネルギーに代替することで二酸化炭素の発生を抑えることが環境価値となります。環境価値化で得た収益は、子育て支援や植林事業などへ寄付することで地域と子どもたちのために役立てます。また、J-クレジットで環境価値を生むCoCoLoプロジェクトに賛同しています。																							
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○			○	応用												12.2	13	14	15									
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○			○	応用	工場の屋根に設置したソーラーパネル使って太陽のエネルギーを電気に変える太陽光発電を取り入れています。再生可能エネルギーに代替することで二酸化炭素の発生を抑えることが環境価値となります。環境価値化で得た収益は、子育て支援や植林事業などへ寄付することで地域と子どもたちのために役立てます。また、J-クレジットで環境価値を生むCoCoLoプロジェクトに賛同しています。																							
22 23 24 25 26 27 公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	経営方針を記した手帳「経営計画書」を社員全員へ配布し、その内容の一部に汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げて社員全員へ周知徹底を行っております。																								
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	経営方針を記した手帳「経営計画書」を社員全員へ配布し、その内容の一部に不正競争行為に関与しない方針を掲げて社員全員へ周知徹底を行っております。																								
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている				○	基本													8.2 8.3	9										
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している				○	基本	個人情報を適切に管理するガイドラインを作成し、情報を扱う従業員へ周知徹底をするガイドラインを作成中で近日中に実施する予定です。																							
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している				○	応用																								
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○		応用					5			8		10		12	13	14	15	16	17							
28 29 製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	自社製品の品性、安全性保持のため定期的に品質の試験を行っております																								
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している				○	基本	自社製品の品性、安全性保持のため定期的に品質の試験を行っております																							
30 31 製品・ サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用						6						12	13	14	15										
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	がれき類の再生利用を行い日々製品の向上、開発に動めています。																								

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1																							
2																							
3																							
4																							

【記載留意事項】

- ・SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度 など）